



# 栃木県の経済情勢報告

令和6年2月1日

財務省関東財務局  
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先  
宇都宮財務事務所 財務課  
電話番号 028-346-6301 (直通)

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	5年度は増加見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	5年度は減益見込みとなっている	5年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、令和6年能登半島地震、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

家電大型専門店販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額や乗用車新車登録届出台数等は前年を上回っている。また、宿泊や飲食サービスについては持ち直している。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

## (主なヒアリング結果)

- 食料品等生活必需品の値上げの影響から、お金をかける物を厳選する傾向が強まっている。初売りは食料品の福袋が好調。(百貨店)
- クリスマスケーキやおせちは前年並みの売上となったが、小規模で高品質の物が選ばれるようになった。全体的に値上げを実施したため売上高は伸びているが、買上点数は減少している。(スーパー)
- 新型コロナの5類移行による行動制限の緩和や、例年よりも気温が高く天候条件に恵まれたことから客足が伸びたものの、値上げの影響から販売点数が減少している。(コンビニ)
- エアコン等の省エネ家電の売上は伸びているものの、新型コロナの感染拡大に伴う巣ごもり需要からの反動減が依然として続いている。(家電量販店)
- 暖冬の影響から保湿商品の売上は伸び悩んでいるものの、外出機会の増加によりメイク関係を中心に化粧品の売上が増加している。(ドラッグストア)
- 新型コロナの5類移行により、マスク等の感染対策用品の売上が減少した一方で、外出用品等の売上が増加。コロナ禍で売上の増加した園芸・サイクル・ペット関連用品は5類移行後も好調。(ホームセンター)
- 新車の納期が短縮傾向にあり、新車販売台数が伸びている。(自動車販売)
- 原材料価格の上昇を受けて販売価格を改定したものの、価格に見合った商品・サービスを提供していることから、価格上昇について消費者から比較的理解を得られていると考えられる。(飲食)
- 宿泊単価上昇や、新型コロナの5類移行による宴会需要の増加により売上が増加した。全国旅行支援の影響を受けた昨年の売上を上回っており、国内需要はコロナ前の水準まで回復している。(宿泊)

## ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、生産用機械等が低下している一方、輸送機械や電気機械が上昇しているなど、持ち直しつつある。

- 世界的な政策金利の上昇の影響で顧客の投資意欲が減退しており、主に欧州、中国、アジアにおいて一般建機の需要が減少している。(生産用機械)
- 中国向けにおいては需要が低迷しているものの、国内や欧米向けの需要が高止まりの状況にあることから、生産量を増やして対応している。(輸送機械)
- 海外需要が増加していることや半導体等の部品不足が解消してきていることもあり、生産量は増加している。(電気機械)

## ■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- かつては春の新規採用が人材獲得のメインであったが、最近は条件の良い企業に人材が流れてしまうケースが多く、人材確保が難しくなっており、中途採用も実施している。(製造業)
- 資格や経験が必要とされる専門的な人材が足りておらず、現在いる人材を確保するために賃金引上げを実施。(製造業)
- 人手不足により、レストランの営業時間短縮や定休日の設定等の対応をとっている。(宿泊)

## ■ 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10~12月期

- 5年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比10.6%の増加見込み、非製造業では同10.4%の減少見込みとなっており、全産業では同3.5%の増加見込みとなっている。

## ■ 企業収益 「5年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」5年10~12月期

- 5年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比1.9%、非製造業では同12.0%の減益見込みとなっており、全体では同4.6%の減益見込みとなっている。

## ■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10~12月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、6年1~3月期は「下降」超で推移する見通しとなっている。

## ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

## ■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、県、市町はいずれも前年を下回っているものの、国は前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。

## ■ 企業倒産 「件数及び負債総額ともに前年を上回っている」



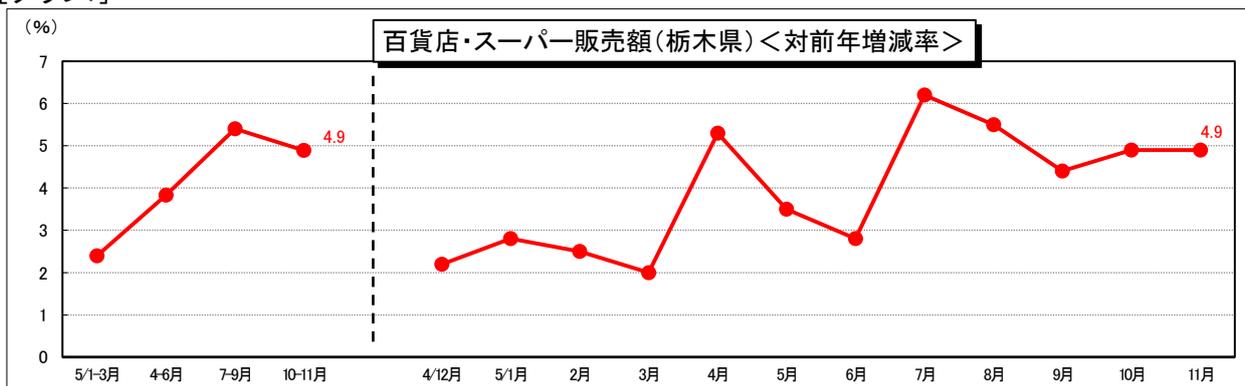
# 栃木県の経済情勢報告

## 資料編

# 1. 個人消費

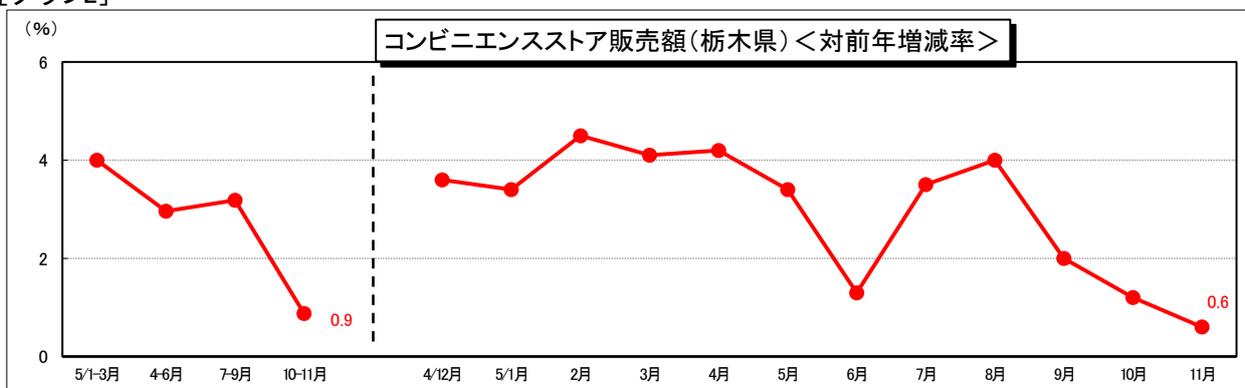
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



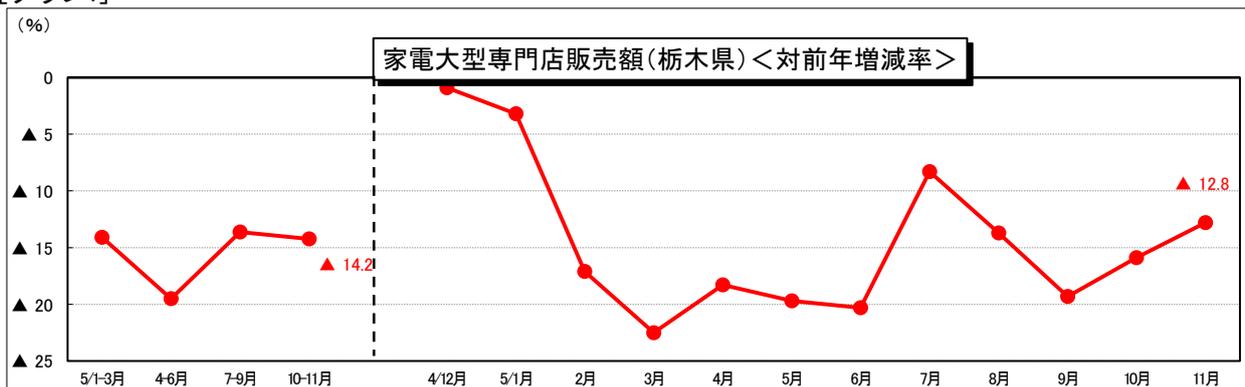
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



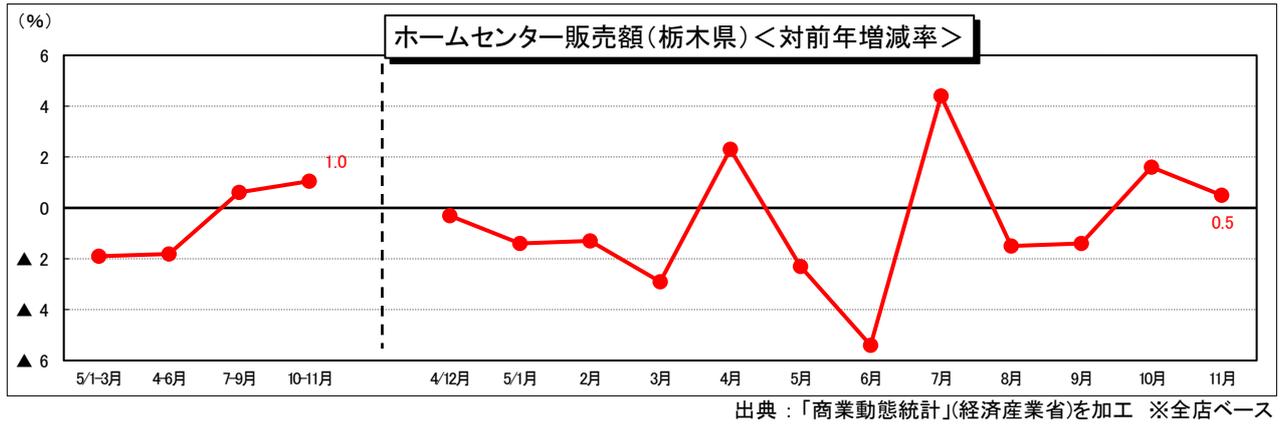
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

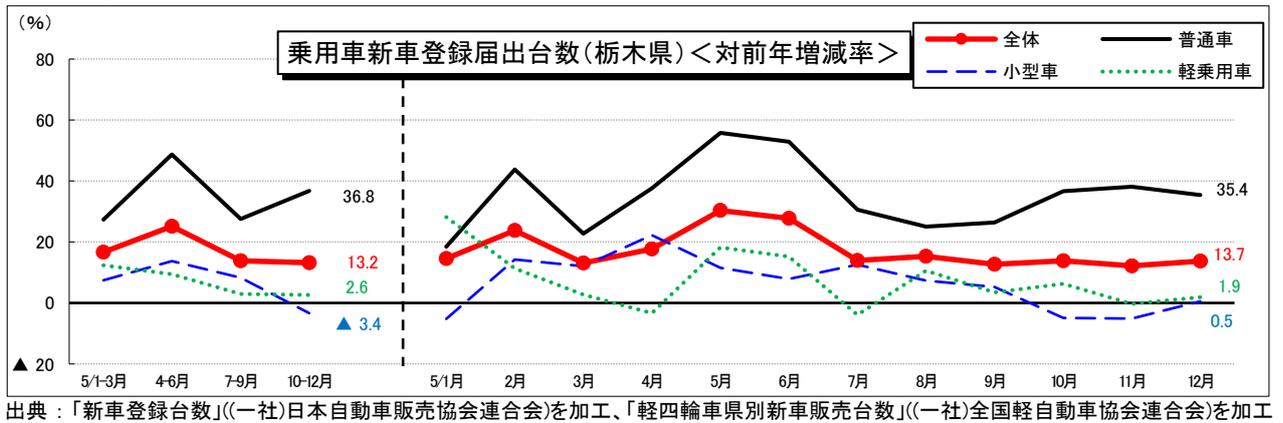


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



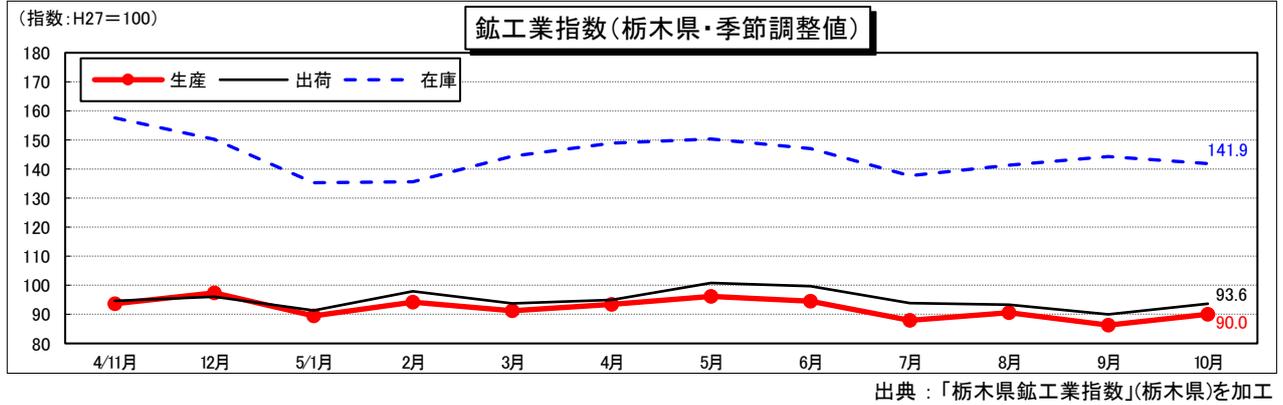
[グラフ6]



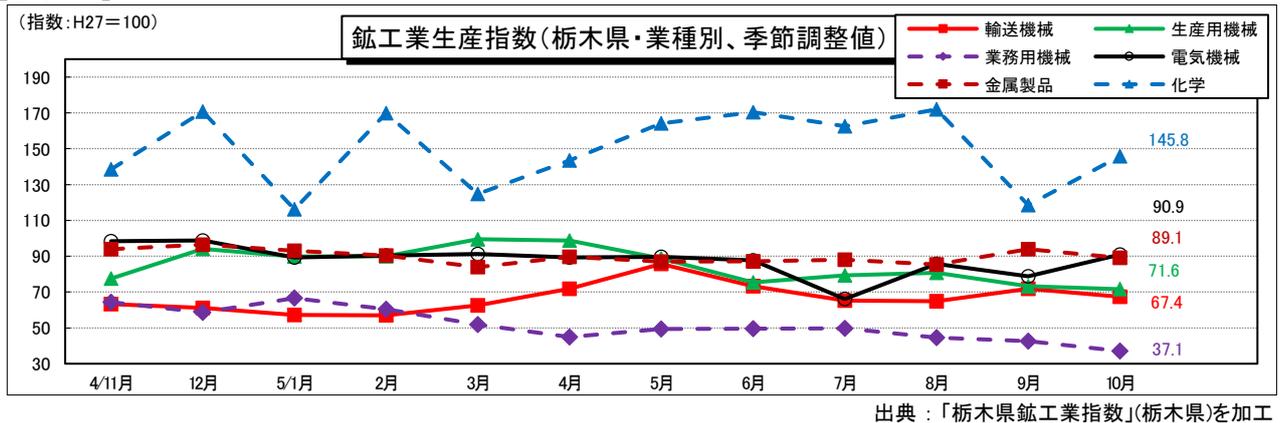
2. 生産活動

持ち直しつつある

[グラフ7]



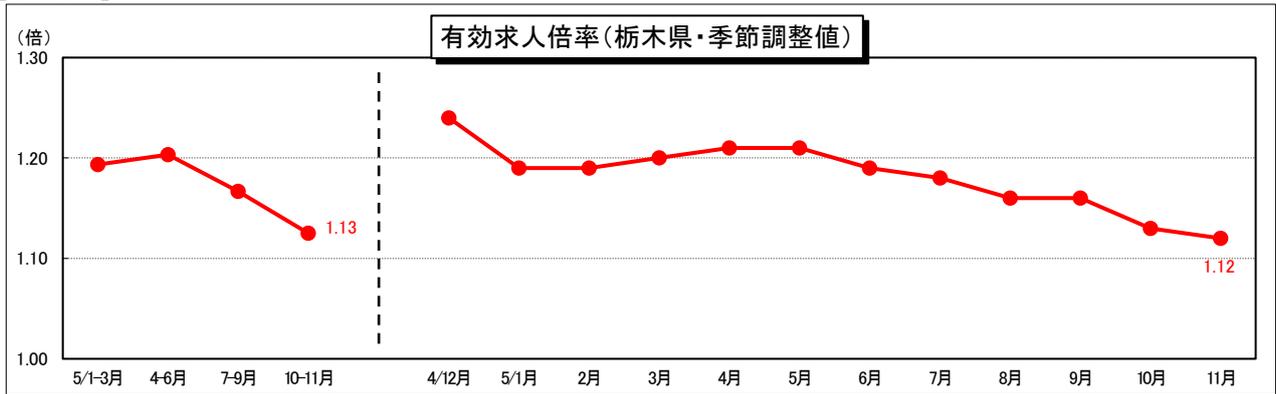
[グラフ8]



### 3. 雇用情勢

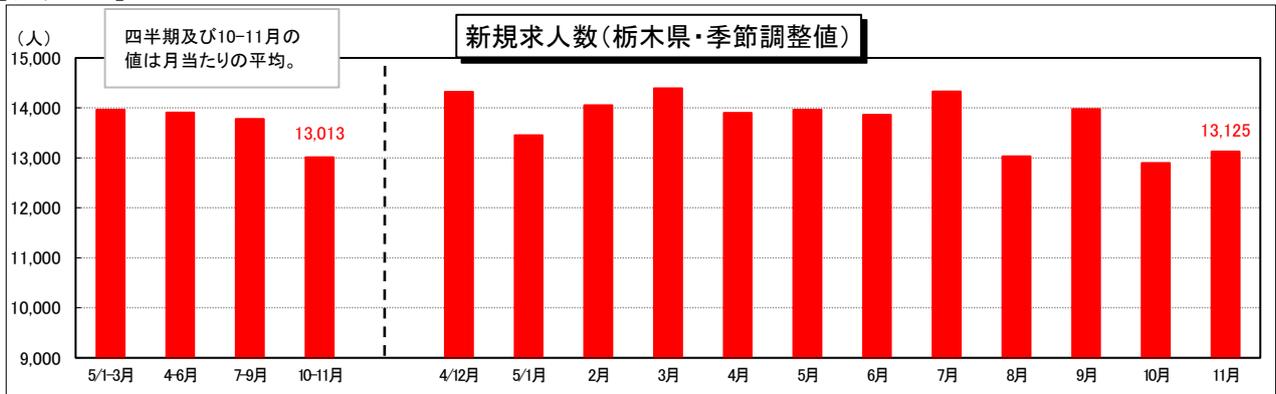
緩やかに持ち直している

[グラフ9]



出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規学卒者を除きパートタイムを含む

[グラフ10]

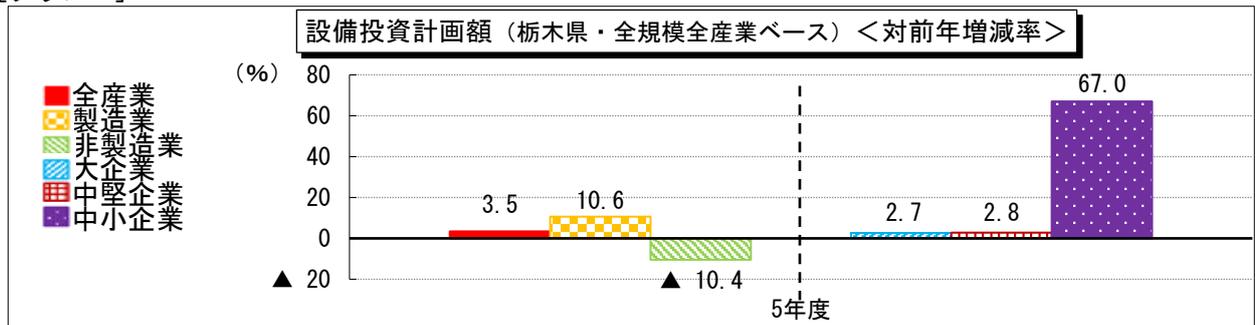


出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規学卒者を除きパートタイムを含む

### 4. 設備投資

5年度は増加見込みとなっている

[グラフ11]

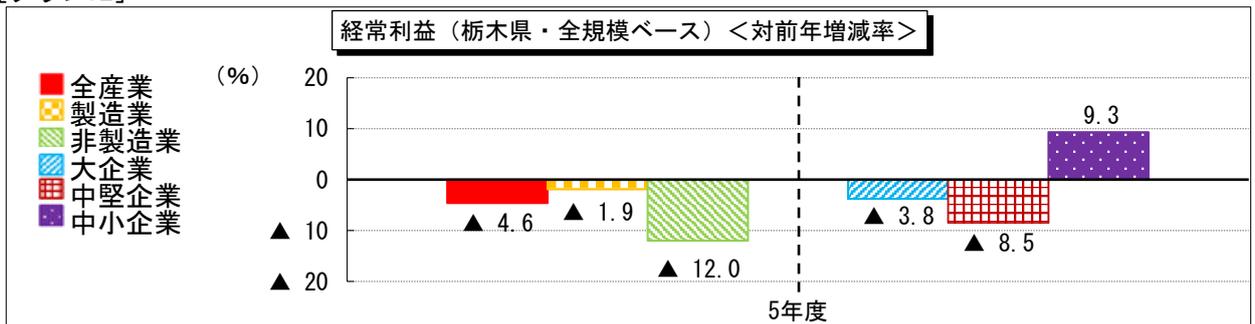


出典：「法人企業景気予測調査(令和5年10~12月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

### 5. 企業収益

5年度は減益見込みとなっている

[グラフ12]

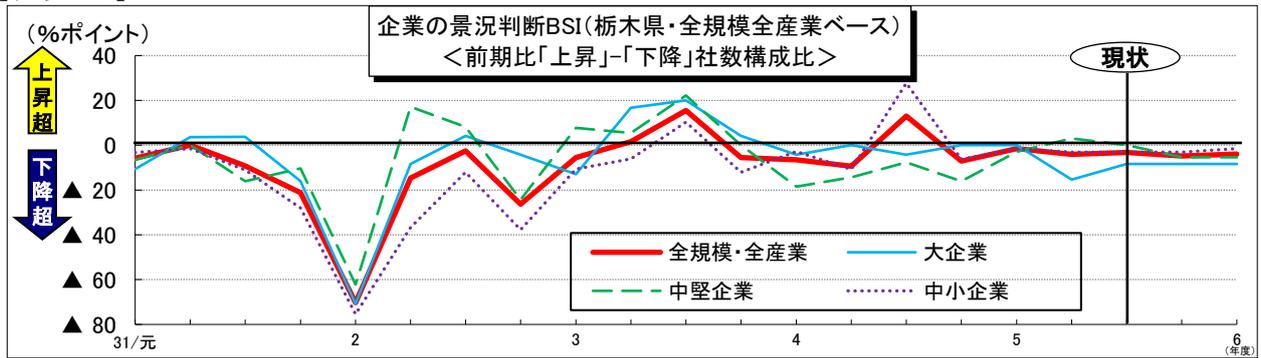


出典：「法人企業景気予測調査(令和5年10~12月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

## 6. 企業の景況感

「下降」超となっている

[グラフ13]

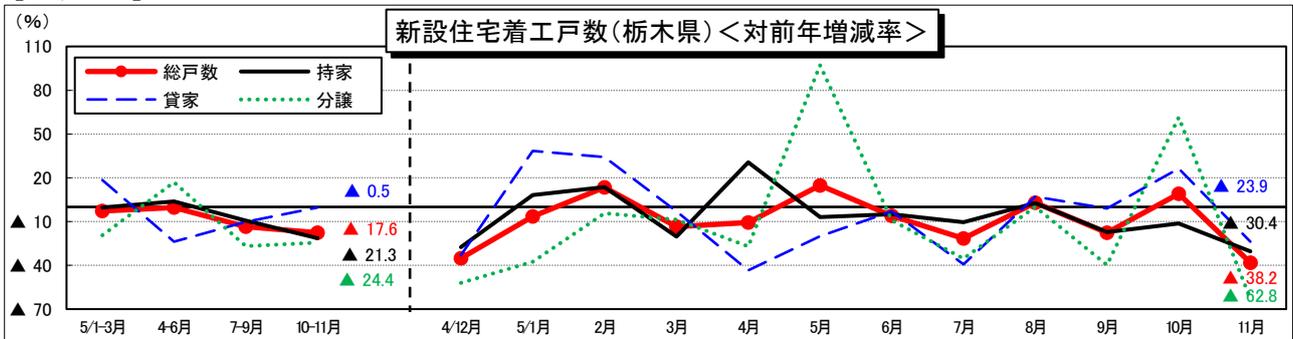


出典：「法人企業景況予測調査(令和5年10～12月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

## 7. 住宅建設

前年を下回っている

[グラフ14]

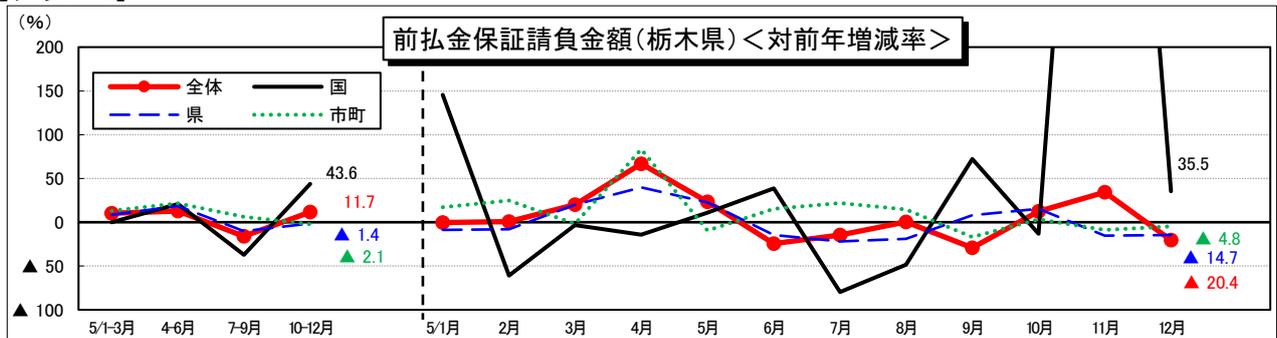


出典：「住宅着工統計」(国土交通省)を加工

## 8. 公共事業

前年を上回っている

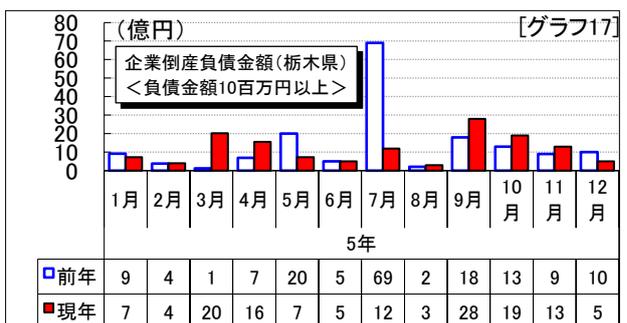
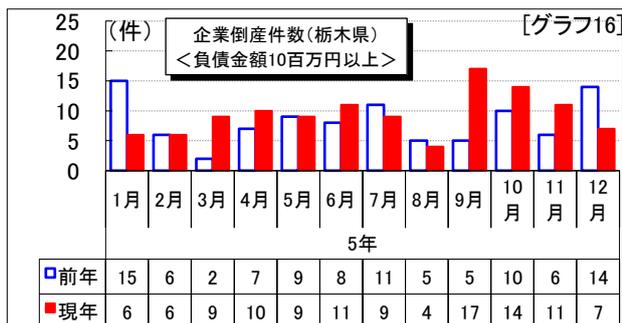
[グラフ15]



出典：「公共工事前払金保証統計」(北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)を加工  
(注)令和5年11月の「国」の数値は、前年比981.6%となっている。

## 9. 企業倒産

件数及び負債総額ともに前年を上回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工